

平成24年度 入学試験問題

看護科学域博士前期課程：専門科目

試験時間 14：30～16：00 90分間

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は2ページである（表紙を除く）。
3. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答用紙の所定の記入欄には、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入すること。
5. 解答は、9領域中2領域について必答とする。まず、各自が専攻する専門領域を選択して、その問題について解答しなさい。
さらに、他の領域から一領域を選択して、その問題について解答しなさい。
6. 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 試験終了まで退室してはいけない。
8. 解答用紙は必ず提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

1. 母性看護学領域

我が国における子宮がん検診受診率は 20～30%程度であり、欧米の 70%という検診率に比較して低いのが現状です。助産師として、子宮がんの予防・早期発見に向けて、どのような支援が可能か、また、その支援の効果の判定はどのように行うのかについて、具体的に述べなさい。

2. 小児看護学領域

次の事例を読んで、下記の質問に答えなさい。

<事例>

下痢・嘔吐の症状を訴えて3歳6ヶ月の男の子誠君（通称まこちゃん）が母親に連れられて小児病棟に入院してきました。あなたは病棟の看護師として、まこちゃんのベッドサイドでバイタルサインを測定しようとしています。

問1. バイタルサインを測定する際に、成人の測定とは異なる点について具体的に記述しなさい。また、そのことから小児看護の特徴とは何かについて述べなさい。

（字数は問わないが、解答用紙表面1枚に収まるように記述すること。）

3. 成人看護学領域

問1. 睡眠障害を持つ対象者へ看護ケアを実践するうえであなたが有効と考える理論または概念枠組みを一つ選びその概要を述べなさい。

問2. その理論または概念枠組みが有効であると考え理由を述べなさい。

問3. その理論または概念枠組みの看護研究への応用について例を挙げて説明しなさい。

4. 高齢者看護学領域

問1. 高齢者のせん妄について以下の質問に答えなさい。

1) せん妄の定義を述べなさい。

2) せん妄の発生要因を述べなさい。

3) せん妄の主たる症状と健康・生活への影響について述べなさい。

4) せん妄と認知症の違いについて説明しなさい。

問2. 高齢者のせん妄に対する予防的看護ケアおよびせん妄を治す看護ケアについて例をあげて説明しなさい。

5. 地域・在宅看護学領域

次の設問AとBのどちらか1題を選択し、解答しなさい。

【A】

アドボカシー（Advocacy）の考え方とその実践について、以下の質問に答えなさい。

問1. この用語の定義について、あなたの考えを含めて記述しなさい。

問2. 看護実践での具体的な事例について、この用語を用いて説明しなさい。

【B】

我が国では、在宅ケアを利用する高齢者の約7割に認知症があるといわれている。このうち半数以上は寝たきりであり、日常生活の基本的ケアをベースにした看護支援が必要となっている。退院後の継続的な支援を検討するうえで課題となる点について述べなさい。

6. 地域精神看護学領域

精神障害の有病率について知るところを述べ、精神看護を実践する上でこのような統計指標をどのように実践に活用すべきか考えるところを述べなさい。

7. 地域看護活動評価論領域

健康教育の評価の要素について論じなさい。

8. 看護倫理学領域

「ICN 看護師の倫理綱領」（ICN, 2005 年改訂版）には、4つの基本領域（看護師と人々、看護師と実践、看護師と看護専門職、看護師と協働者）が設けられており、それぞれにおいて倫理的行為の基準が示されている。

基本領域「看護師と協働者」の中に、「看護師は、個人、家族および地域社会の健康が共働者あるいは他の者によって危険にさらされているときは、それらの人々や地域社会を安全に保護するために適切な措置をとる。」という項目がある。この項目は、保健医療福祉の現場における看護師のどのような行為を示しているのか、具体的な例を挙げて詳しく説明しなさい。（800字以内）

9. 看護管理学領域

近年、チーム医療の推進が謳われております。医療機関や保健福祉施設における効率的なケアの提供のための看護職と他職種との役割分担の効果および多職種連携に係る課題についてあなたの考えを述べなさい。他職種とは医師、薬剤師、理学療法士等のコメディカルや社会福祉士、介護支援専門員、介護職、看護助手等、ケアに関わるあらゆる職種を指します。2つ以上の職種を取り上げて論述しても構いません。